

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境についての学習	SDGsや自然について学習し、生徒たちの自然を大切にすることを育てます。	1	総合的な学習や校外学習で、自然について学習する機会を設ける。	1年職員 2年職員	生徒 教職員	図書の紹介はあまりたくさん扱うことができなかった。 総合的な学習や道徳の学習の中で、自然について学ぶ機会があった。3年生は卒業前に地域の清掃活動を行う予定でいる。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 委員会の活動はもう少し意識的に行うとよかった。 【今後の課題】 総合的な学習の計画を学校全体で確認したい。 【次年度への引継ぎ事項】 引き続き学習支援部を中心に活動を計画していきたい。
		2	図書委員会で環境に関する図書の紹介を行う。	図書委員会顧問	図書委員		
		3					
		4					
電気、水、物を大切に使う活動	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。	1	使っていない教室やトイレなどの電気をこまめに消す。	全職員	教職員 生徒	掲示物なども用いて全職員や生徒が節電、節水などに意識を持って行動していた。 夏季は例年以上に暑く、熱中症への心配からエアコンについては節電よりも使用推進となった。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 意識して行動していた。 【今後の課題】 照明やエアコン等の消し忘れに一層気をつける。 【次年度への引継ぎ事項】 掲示物をそろそろリニューアルするとよい。
		2	水道の蛇口をしっかりと閉める。	全職員	教職員 生徒		
		3	ストーブの使用温度を下げる。	全職員	教職員		
		4	エアコンの夏季の使用室温を上げるとともに、冬季の使用温度を下げる。	全職員	教職員		
捨てるごみを減らす活動	ごみの分別・リサイクル活動を推進し、ごみの量を減らします。	1	印刷やコピーの無駄をなくす。 (両面印刷および裏面印刷の励行)	全職員	教職員	教職員向けの印刷物は裏面印刷を徹底した。 ごみの捨て方のリーフレットをクラスルームで職員向けに配信した。 生徒会本部が中心となってエコキャップ等の回収活動を積極的に行っている。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 リサイクルについてあたりまえに実践している。 【今後の課題】 古紙等の出し方や教材室等の整理整頓を徹底する。 【次年度への引継ぎ事項】 引き続きリサイクル活動の推進。
		2	捨てるごみとリサイクル資源をきちんと分別する。	全職員	教職員 生徒		
		3	エコキャップ活動およびアルボラ活動の実施。	生徒会顧問	生徒会 生徒		
		4	側溝の土砂の利用。	全職員	教職員 生徒		

(様式1) 学校エコ活動シート

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

一年生ボラウィーク中間発表！！

	A組	B組	C組	D組+先生
エコキャップ	3050	2155	2492	357
アルミ缶 の回収量(kg)	275	146	305	1043
合計	3325	2301	5547	1400

二年生ボラウィーク中間発表！！

	A組	B組	C組	D組
エコキャップ	3315	4236	5125	11264
アルミ缶 の回収量(kg)	0	2148	1077	112
合計	3315	6384	6202	11376

三年生ボラウィーク中間発表！！

	A組	B組	C組	D組
エコキャップ	1679	641	1500	4136
アルミ缶 の回収量(kg)	418	528	636	1402
合計	2097	1169	2136	5538



生徒会本部ではクラスや学年での対抗戦のスタイルで盛り上げながらエコキャップ、アルミ缶の回収活動を行っている。

●学校長（推進責任者）によるコメント

【学校長名】

稲川 敏光

【今後の方向性について】

今後も生徒が主体的に取り組める活動を盛り上げていきたい。

地域の環境や校内の省エネに関心を持てるような学習活動も工夫していきたい。